

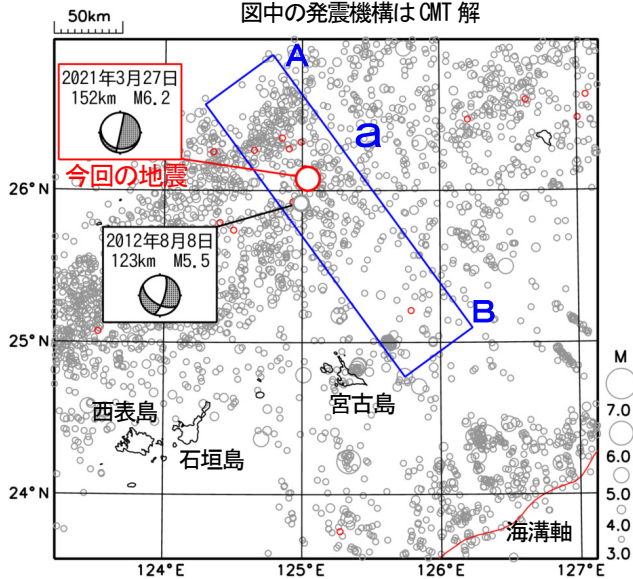
3月27日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

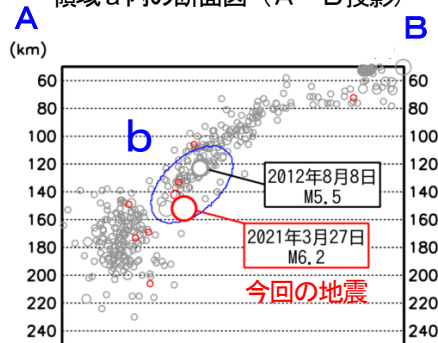
(2000年7月1日～2021年3月31日、
深さ 50～250km、 $M \geq 3.0$)

2021年3月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解



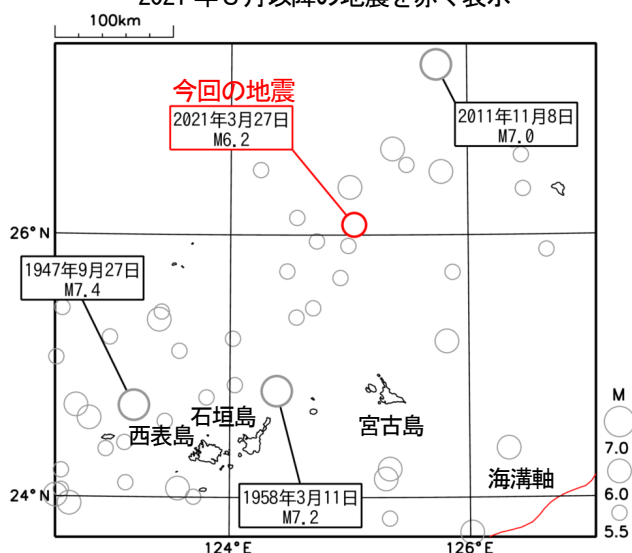
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2021年3月31日、
深さ 50～300km、 $M \geq 5.5$)

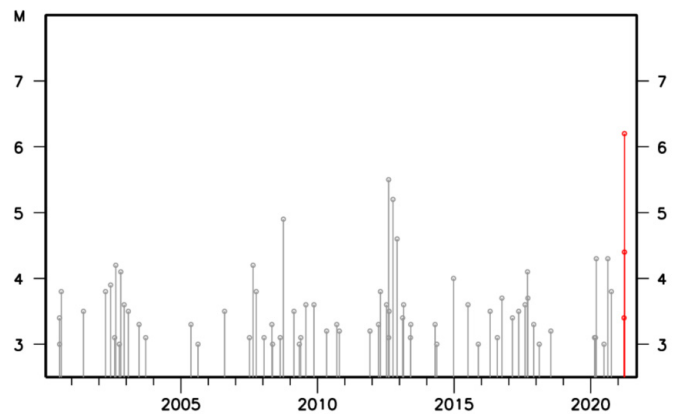
2021年3月以降の地震を赤く表示



2021年3月27日07時02分に宮古島北西沖の深さ152kmで $M 6.2$ の地震 (最大震度2) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震源付近 (領域b) では、2012年8月8日に $M 5.5$ の地震 (最大震度2) が発生しているが、 $M 6.0$ 以上の地震は今回が初めてである。

領域b内のM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去に $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、1947年9月には $M 7.4$ の地震 (最大震度5) が発生し、先島諸島で死者5人のほか、地割れや落石、山崩れ等の被害が生じた (被害は、「日本被害地震総覧」による)。

左図領域のM-T図

